

2021年2月期 第2四半期 決算説明資料

株式会社ワイズテーブルコーポレーション

(証券コード： 2798東証第二部)



2020年10月19日

1. 2021年2月期 第2四半期 決算報告と今期の見通し

- 2021年2月期 第2四半期 業績概要
- 新型コロナウイルス感染症による影響
- 2021年2月期 通期見通し（連結）

2. 当社グループの近況とトピックス

- 当社グループの売上・損益の状況
- XEX（ゼックス）グループ
- カジュアルレストラングループ
- 来期に向けて

単位：百万円（百万円未満切捨て）

2021年2月期 第2四半期連結累計期間

2020年2月期 第2四半期連結累計期間

【 連 結 】

	当期実績		計画		計画比	前期実績		前期比
		構成比		構成比			構成比	
売上高	3,681	100.0%	-	-	-	6,939	100.0%	53.1%
営業利益	▲1,225	-	-	-	-	21	0.3%	-
経常利益	▲1,041	-	-	-	-	77	1.1%	-
親会社株主に帰属する 四半期純利益	▲1,019	-	-	-	-	54	0.8%	-
1株当たり 四半期純利益	▲383.13円	-	-	-	-	20.36円	-	-

■ 前期比：

【売上高】

- ・ 約1か月間の店舗休業とその後の営業自粛要請等の影響による直営店一般営業での減収(-)
- ・ フランチャイズ店舗休業・売上不振によるフランチャイズ事業での減収(-)
- ・ パーティー・ブライダル機会の消失による売上剥落(-)

【営業利益】

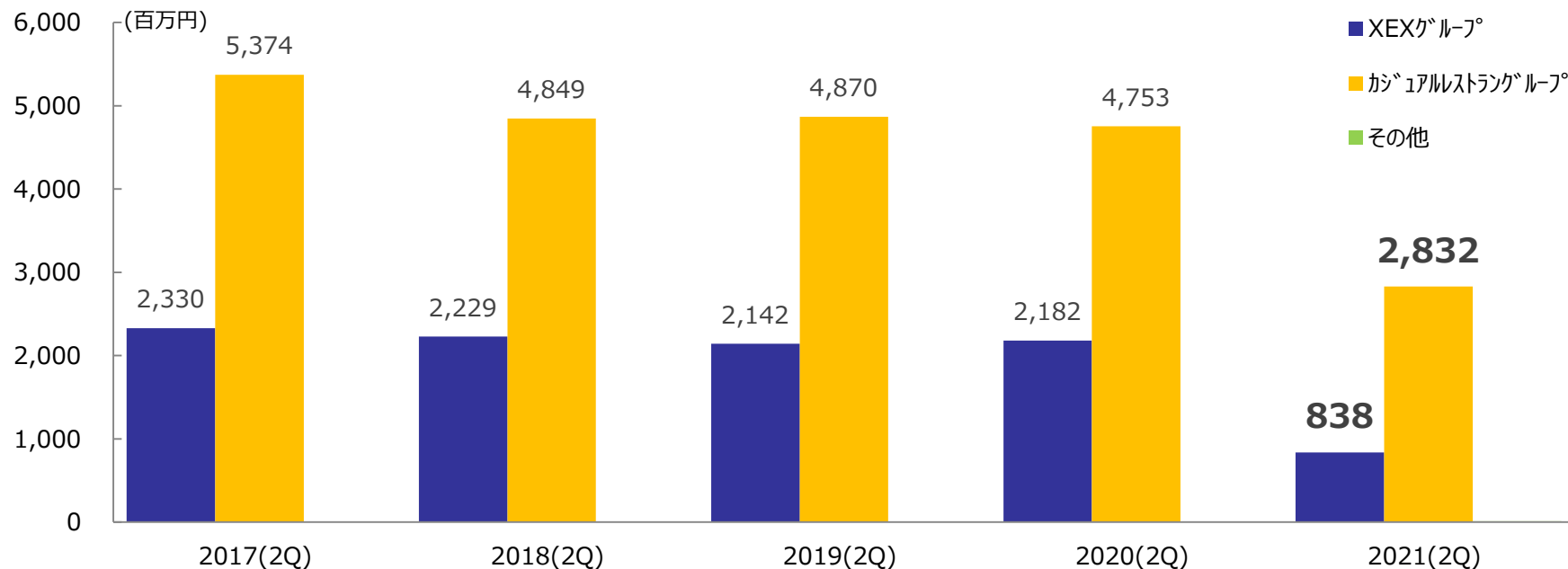
- ・ 売上高の減少に伴う営業損失の計上(-)
- ・ 管理部門等のコスト削減(+)

【経常利益】

- ・ 協賛金・雇用調整助成金の計上(+)

■ 計画比：新型コロナウイルス感染症拡大の影響により計画未定とした

2021年2月期第2四半期売上高の推移



■XEXグループ：

- 売上高前年同期比 38.1% (既存店 37.5%)
- コロナウイルス感染症拡大による休業等の影響で前年を大きく下回る

■カジュアルレストラングループ：

- 売上高前年同期比 60.2% (直営既存店 61.0%)
- コロナウイルス感染症拡大の影響で前年を下回るものの、飲食店休業期間中以降デリバリー業態が好調となり、一定の売上を支えた

2021年2月期 第2四半期 業績概要 (連結貸借対照表)

単位：百万円（百万円未満切捨て）

科目	当第2四半期末	前連結会計年度	増減	科目	当第2四半期末	前連結会計年度	増減
現金及び預金	845	1,064	△219	買掛金	465	544	△79
売掛金	522	608	△85	短期借入金	1,216	483	732
棚卸資産	130	171	△41	未払金	803	642	161
その他	343	164	179	未払法人税等	168	136	31
流動資産合計	1,842	2,008	△166	株主優待引当金	63	64	-
有形固定資産	1,570	1,608	△38	その他	863	502	361
建物及び構築物（純額）	1,279	1,300	△20	流動負債合計	3,581	2,374	1,206
その他（純額）	290	308	△17	長期借入金	336	763	△427
無形固定資産	19	35	△16	資産除去債務	820	821	△1
のれん	-	10	△10	その他	306	332	△25
その他	19	24	△5	固定負債合計	1,463	1,917	△454
投資その他の資産	1,116	1,162	-	負債合計	5,044	4,291	752
投資有価証券	-	8	△8	資本金	830	830	-
長期貸付金	553	524	28	資本剰余金	900	900	-
敷金及び保証金	603	625	△21	利益剰余金	△2,256	△1,237	△1,019
その他	6	8	△1	新株予約権	30	30	-
固定資産合計	2,705	2,806	△100	純資産合計	△495	523	△1,019
資産合計	4,548	4,815	△266	負債純資産合計	4,548	4,815	△266

- ・ 主な増減：現金及び預金の減少(219百万円)
- 短期借入金の増加(732百万円)
- その他流動負債の増加(361百万円)
- 長期借入金の減少(427百万円)
- 純資産合計が1,019百万円減少し、当第2四半期末で▲495百万円となる

2021年2月期 第2四半期 業績概要（連結キャッシュ・フロー計算書）

区分	当第2四半期連結累計期間	前第2四半期連結累計期間
営業活動によるキャッシュ・フロー	△443	351
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△1,047	79
減価償却費（のれん償却含む）	132	187
減損損失	9	-
売上債権の増減額（△は増加）	88	△161
仕入債務の増減額（△は減少）	△79	118
未払金の増減額（△は減少）	153	75
未払消費税等の増減額（△は減少）	92	34
法人税等の支払額	△1	△17
その他	210	36
投資活動によるキャッシュ・フロー	△62	△273
有形固定資産の取得による支出	△72	△64
貸付けによる支出	△30	△212
敷金及び保証金の回収による収入	20	3
その他	20	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	286	△115
短期借入金の増減額（△は減少）	541	-
長期借入れによる収入	110	200
長期借入金の返済による支出	△345	△298
その他	△20	△17
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△219	△37
現金及び現金同等物の期首残高	1,064	963
現金及び現金同等物の四半期末残高	845	926

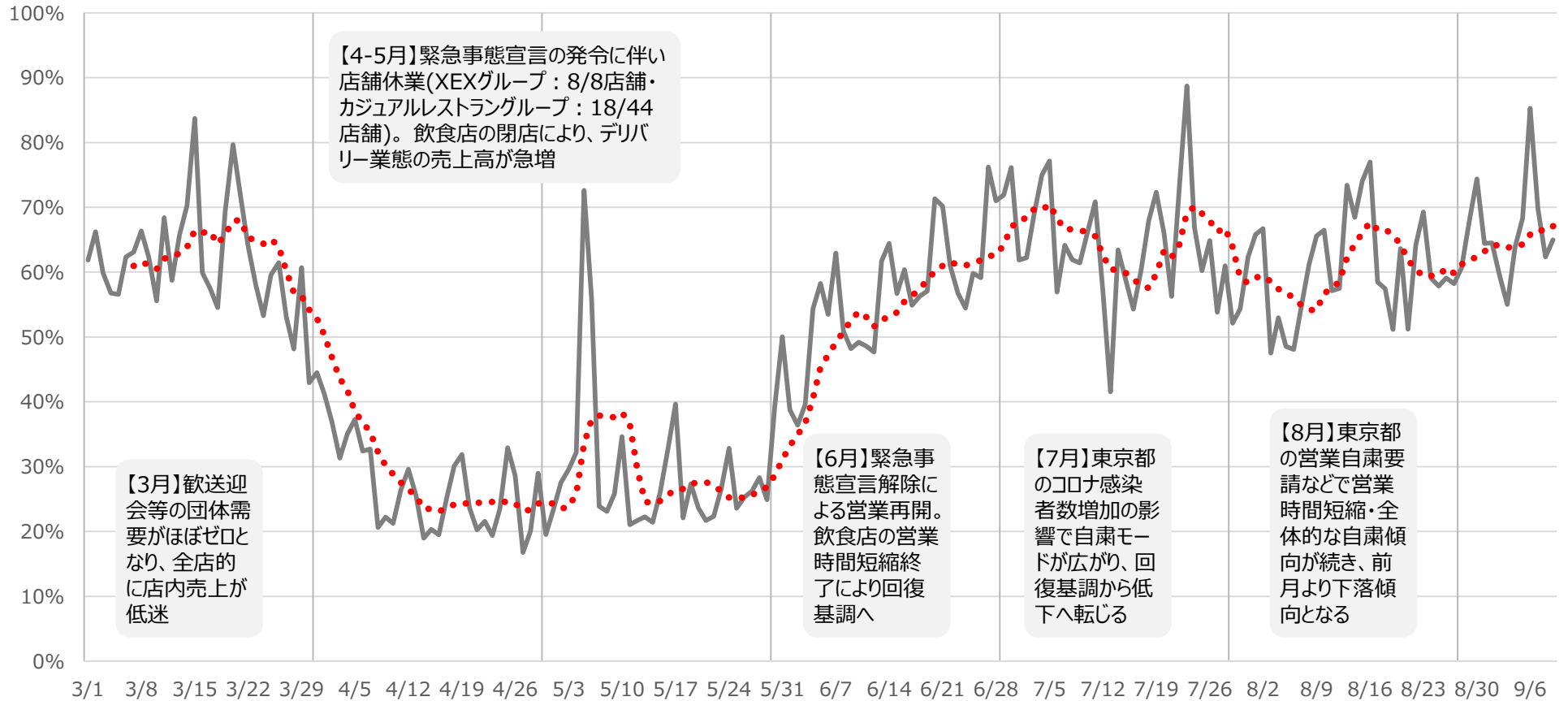
単位：百万円
（百万円未満切捨て）

- ・ 営業活動によるCFが大幅に悪化
営業損失額まで営業活動によるCFが悪化していないのは、支払猶予を受けたこと等により未払金が増加したため
- ・ 短期借入れを行い運転資金に充当

（注）主要項目のみ記載

2021年2月期上期における新型コロナウイルス感染症の影響

売上高前年比推移（同曜）



※赤点線は7日移動平均／直営店実績

単位：百万円（百万円未満切捨て）

科目	2020年2月期 通期実績	2021年2月期 通期計画（注）	前期比
売上高	13,732	9,252	67.4%
営業利益	131	△1,423	—
経常利益	232	△1,134	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	48	△1,104	—

（注）2020年10月15日付で発表した通期計画です

■ XEXグループ

- ・一般営業の回復とパーティー・ブライダルの下期予定を織り込み、通期既存店売上高は前年比57.6%で設定

■ カジュアルレストラングループ

- ・イートイン業態は年末に向け前年比80～90%程度まで回復、デリバリー業態は引き続き好調を維持すると想定し、グループ全体の通期既存店売上高は前年比73.2%で設定

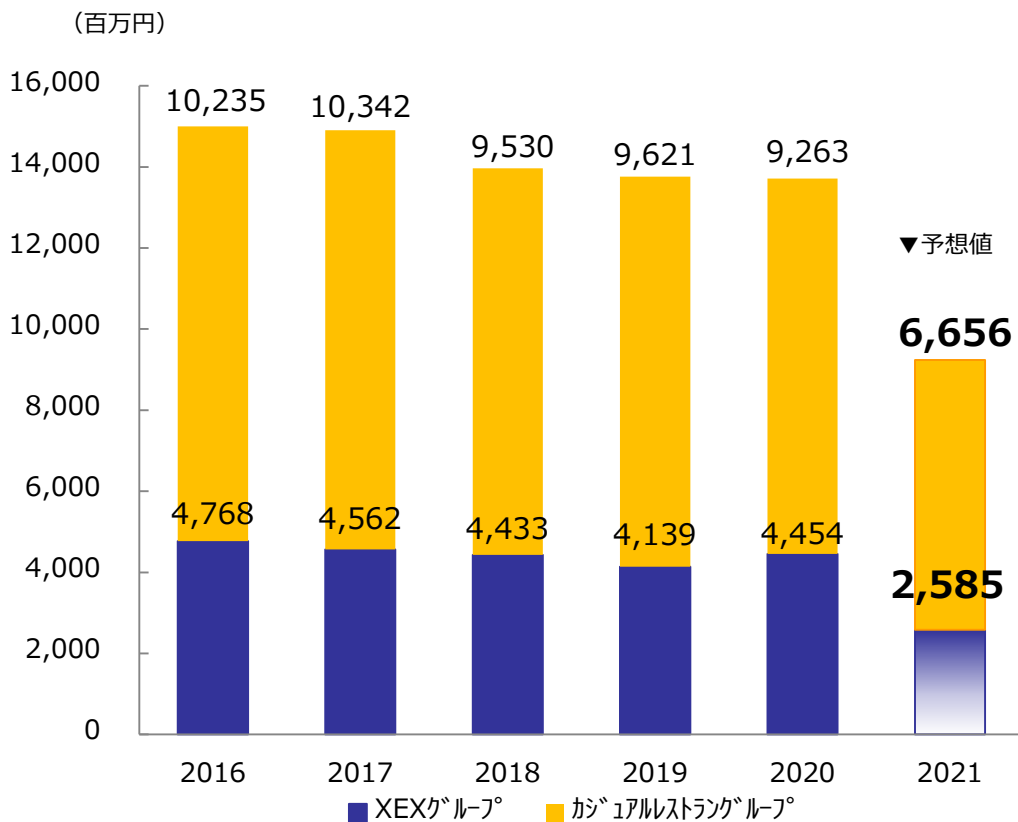
■ その他

- ・本社コストの削減効果（+）を織り込む

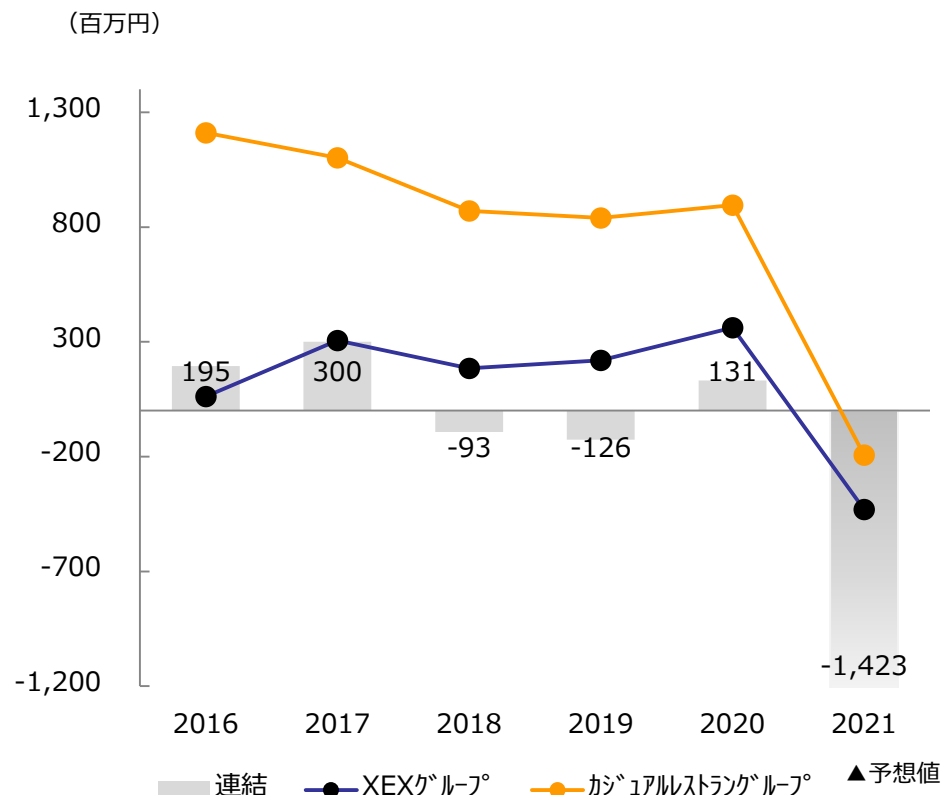
※参考：下期各月の既存店前年比設定

2020年9月	2020年10月	2020年11月	2020年12月	2021年1月	2021年2月
71.2%	77.2%	79.7%	86.0%	85.4%	87.4%

当社グループ 主要2セグメントの売上高推移



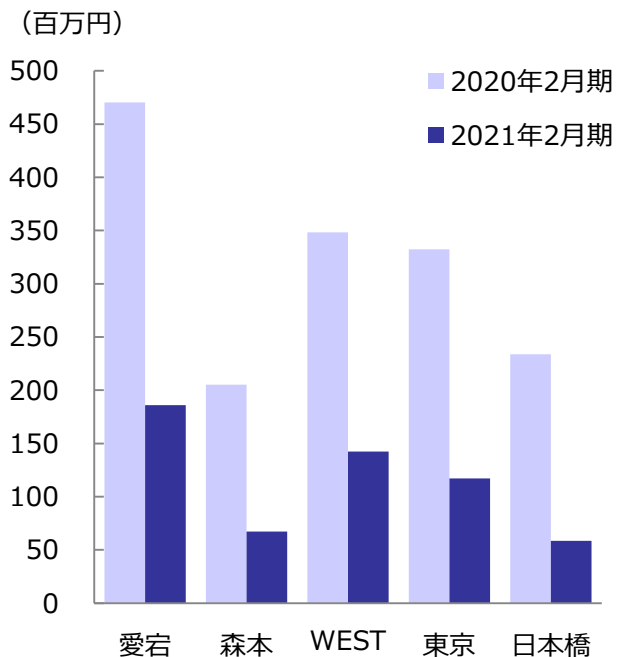
当社グループ 連結営業利益推移



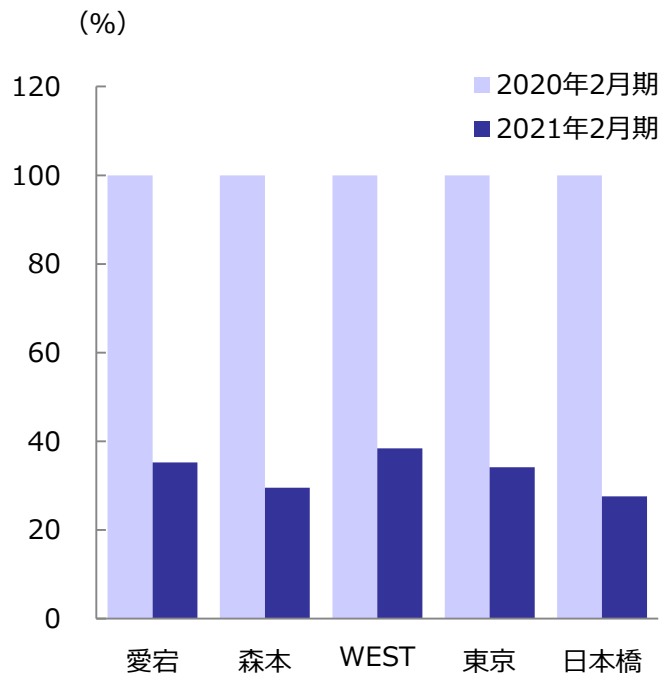
■ コロナウイルス感染症拡大の影響により、XEXグループ・カジュアルレストラングループ共に売上が平年水準を大幅に下回り、グループ段階での営業利益が両グループとも損失に転じる見通し

XEXブランド*の売上高等の動向（2021年2月期上期）

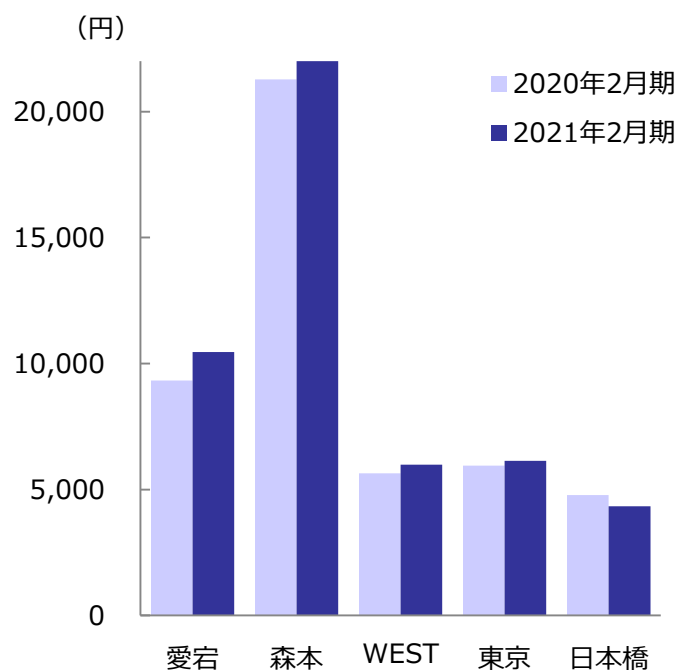
売上高



客数 (前年を100とした比率)



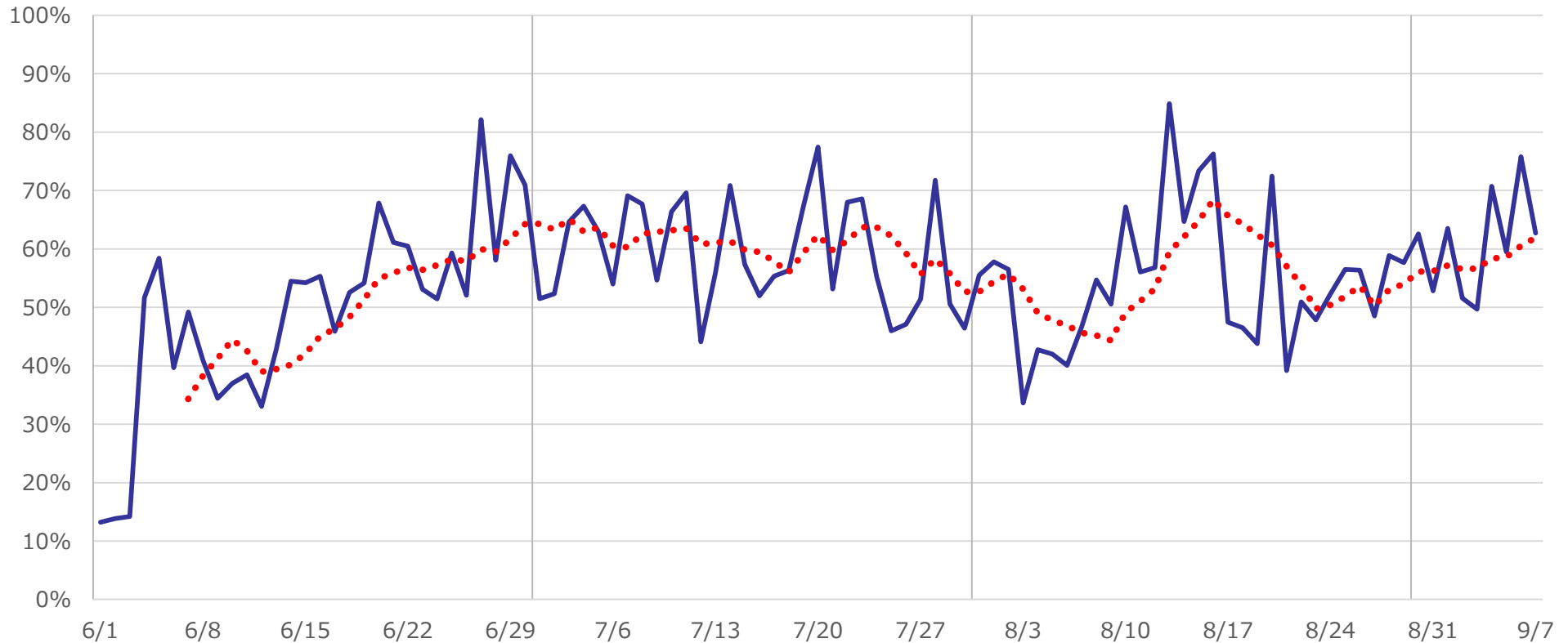
客単価



- コロナウイルス感染症拡大の影響により、上期はパーティー・ブライダルとインバウンド需要がほぼ消失
- 客数は前年を大幅に下回るが単価は日本橋を除く全店で前年を上回る

*XEXブランド：愛宕・東京・日本橋・森本・WESTの5店舗

6-8月における売上高前年比推移（同曜）



※赤点線は7日移動平均

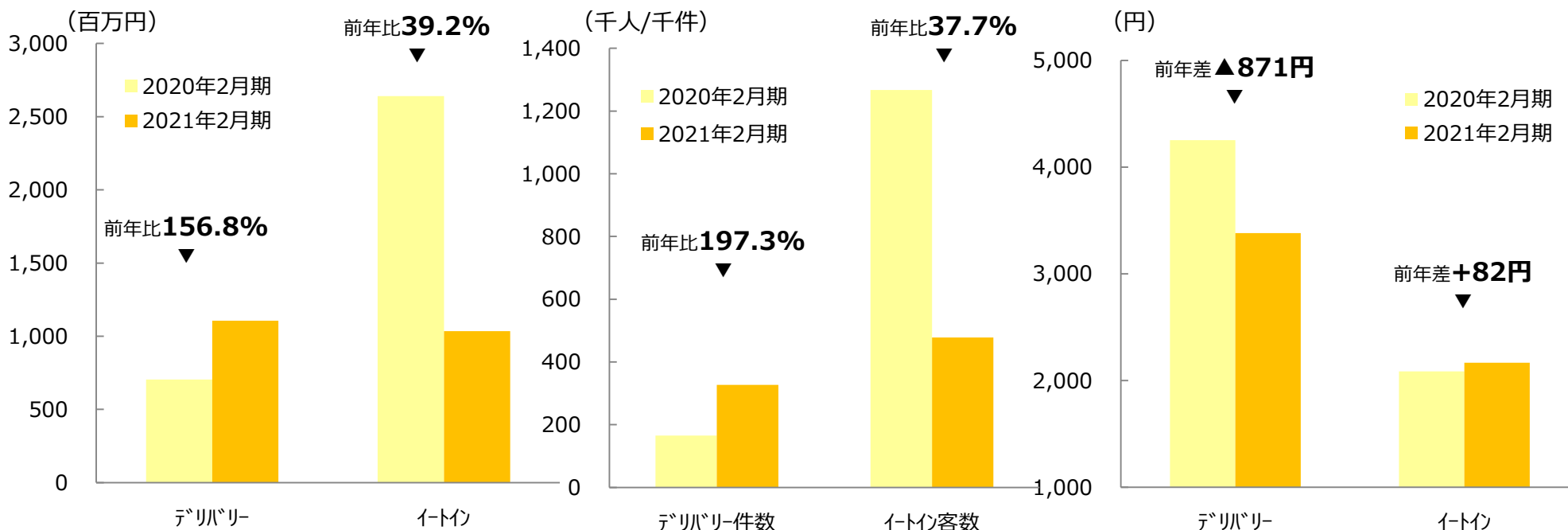
- 5月下旬から6月にかけて順次店舗営業が再開し回復基調が続くも、7月に入り停滞
- 8月には営業自粛要請によりディナー・深夜売上が剥落。お盆休み期間は旅行・長距離移動自粛の影響で一時的に好調となる

Salvatoreブランド*既存店における業態別売上高等の動向

売上高

客件数

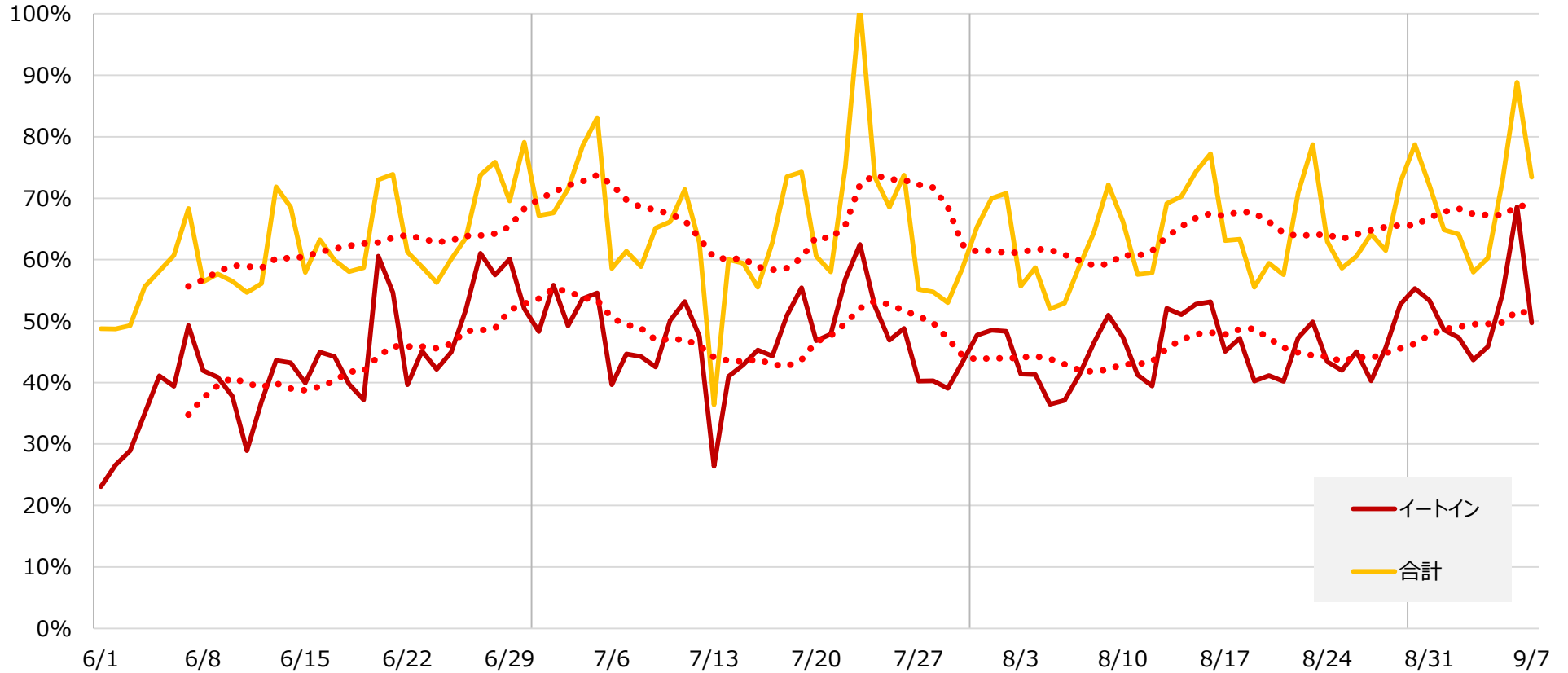
客/件単価



- コロナウイルス感染症拡大の影響により、イトイン業態での売上高が大幅に減少する一方、飲食店の休業や外出控えにより、デリバリー業態が好調に推移し、グループ全体の売上を下支えした
- デリバリー新業態「肉市場」の展開により、件単価は前年を下回り、件数は前年を大きく上回った

*Salvatoreブランド：「PIZZA SALVATORE CUOMO」・「SALVATORE CUOMO & BAR」等のサルヴァトーレ直営既存店実績

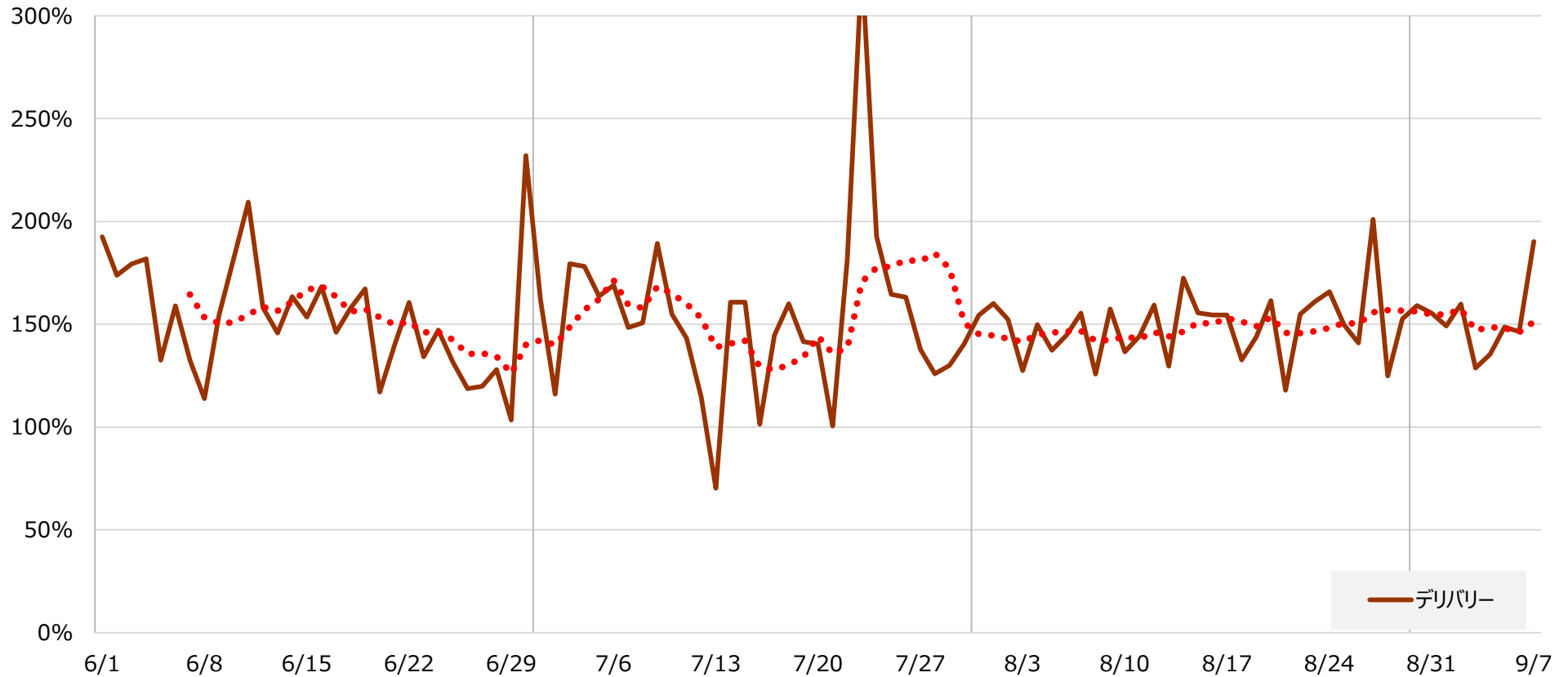
6-8月における売上高前年比推移（同曜） - グループ合計・イトイン



※赤点線は7日移動平均/直営既存店実績

- 5月下旬の営業再開後は売上回復基調が続いたが、7月-8月中旬までは営業自粛要請等により停滞
- 回復度合いは立地条件により異なり、オフィスビル近隣・ビジネスホテル内、特に新宿エリアでは限定的な回復となった

6-8月における売上高前年比推移（同曜） - デリバリー



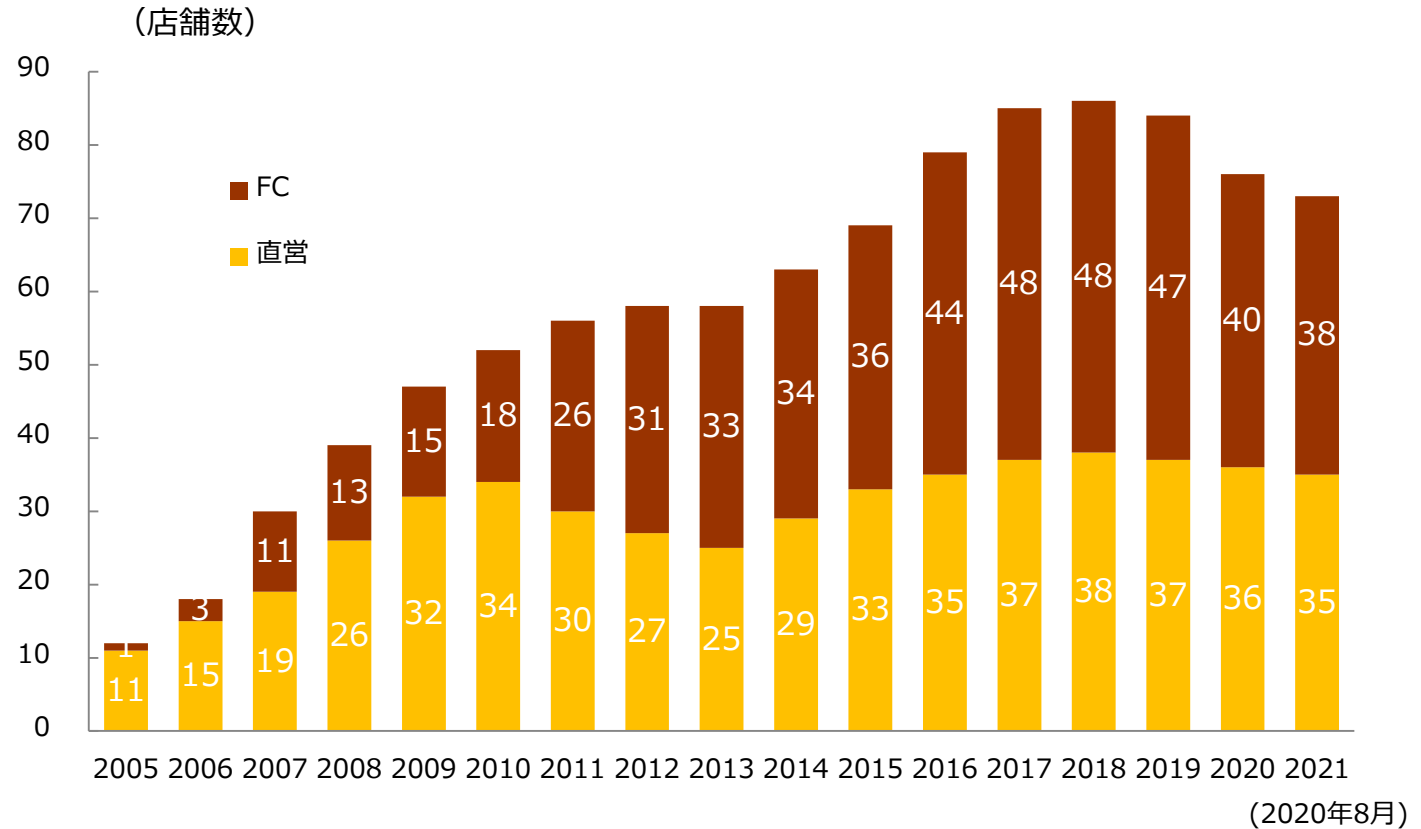
※赤点線は7日移動平均/直営既存店実績

- 飲食店の営業再開後はデリバリー業態の好調傾向が少し鈍化したものの、7-8月も前年比150%水準で推移
- 競合参入の続く環境下において、「肉市場」ブランド投入がデリバリー件数増加の維持に寄与している

Salvatoreブランド 展開状況*

地域	店舗数
北海道	2
東北	1
関東	40
北陸・甲信	2
東海	6
近畿	7
中国	3
四国	1
九州・沖縄	5
海外	6
合計	73

*2020年8月31日現在



■ 2021年2月期上期は国内出店なし。下期も新規出店は抑え、既存店回復に注力する計画

■ デリバリーの好調と新業態「肉市場」の成長

- 従前より運営していたデリバリー業態の売上が、コロナ禍での需要拡大を受けて前年比大幅増で推移し、イートイン業態の売上落ち込みを補填
- ステーキ業態「STEAK THE FIRST」のノウハウを生かした新業態「肉市場」が大きく成長し、売上への大きな上乗せとなった
- 今後も高いデリバリー需要が見込まれることから、既存店舗のキッチンを活用した新しいブランドの展開を推進する

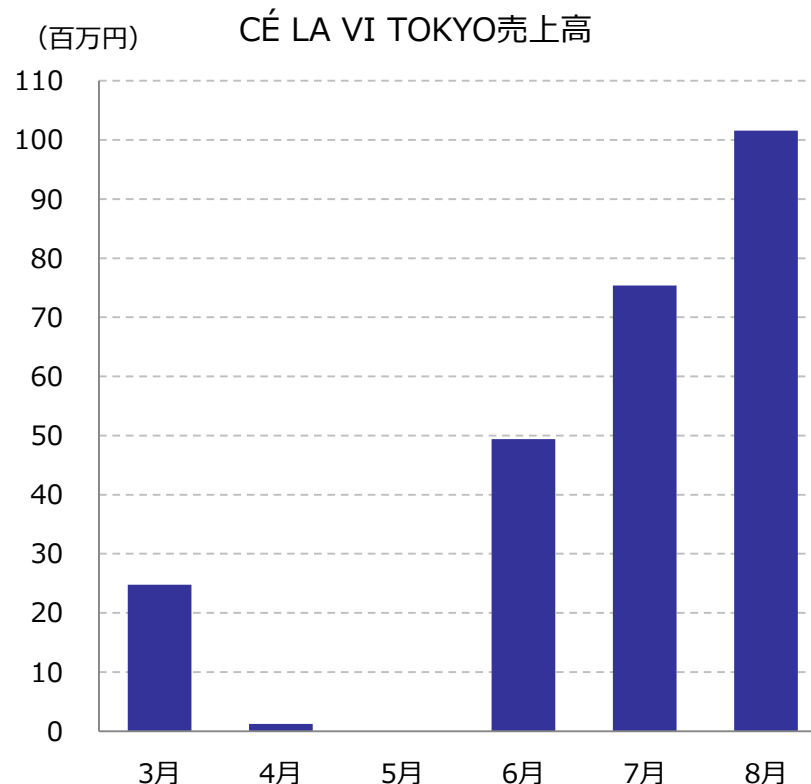
<p>牛ハラミ丼(肉120g) Beef Skirt Steak Rice Bowl (120g Meat) 通常でも人気の牛ハラミを丼にしました。カルビより断。</p> <p>¥1,274</p> 	<p>牛ハラミ丼(肉150g) Beef Skirt Steak Rice Bowl (150g Meat) 通常でも人気の牛ハラミを丼にしました。カルビより断。</p> <p>¥1,450</p> 	<p>ローストビーフ丼〜半熟 卵のせ〜 Roast Beef Rice Bowl 生食状態で作り出しているローストビーフを使った新商品</p> <p>¥1,706</p> 
<p>鹽燻カルビ丼 Salted Pork Spare Rib Rice Bowl ボリューム満点！鹽燻のカルビを特製塩ダレで焼いたお肉の。</p> <p>¥1,144</p> 	<p>鶏の唐揚げ丼 Fried Chicken Rice Bowl 自家のタレで揚げた唐揚げの旨みたっぷりのボリュームの。</p> <p>¥938</p> 	<p>鶏のから揚げマヨ丼 Fried Chicken & Mayo Rice Bowl みんな大好き唐揚げを丼にしました。タネーションな唐揚げ。</p> <p>¥990</p> 
<p>沖縄県産 黒毛和牛「もとぶ牛」御膳 (赤身) Okinawa-ken-san kuroug... 行商員！沖縄の黒毛和牛「もとぶ牛」を使って贅沢な御膳。</p> <p>¥2,678</p> 	<p>【県産】沖縄県産 黒毛和牛「もとぶ牛」 (80g) Okinawa-ken-a... 和食店！沖縄の黒毛和牛「もとぶ牛」を使った新商品。</p> <p>¥1,598</p> 	<p>肉市場 MEAT MARKET</p>

■ 新しい価値観への対応

- 衛生管理の徹底はもちろん、食事だけではない居心地のいい空間づくりにこだわりを持つ当社ならではの強みを生かし、テラス席の活用や開放感ある席配置など、ウィズコロナにおけるニーズにいち早く対応
- お客様にご好評をいただいていたブッフェについて、オペレーションを見直し様々な対策を実施。ウィズコロナにおいても安心して安全にお楽しみいただけるブッフェスタイルを実現



「CÉ LA VI TOKYO」事業の推移



※持分法適用会社 (株)ICONIC LOCATIONS JAPANが運営

- 東急プラザ渋谷の17・18階に位置する「CÉ LA VI TOKYO」は4・5月は休業を余儀なくされたものの、6月に営業を再開
- 2フロアにわたる開放的でデザイン性の高いテラス席が、ウィズコロナにおけるお客様のニーズに合致し、好評をいただく
- 8月には月間売上高が1億円を超過

■キャッシュフローの改善・資本強化

- 支払賃料の減額等の要請
- 緊急経済対策に基づく税金及び社会保険料の納税猶予制度の利用
- 取引金融機関からの借入金返済猶予と追加借入
- 資本政策の実施により債務超過解消

■コスト削減

- 賃料減額や雇用調整助成金の活用
- 人員減、配置転換などによる本部コストの削減
- 計数管理強化や業務フロー、仕組みの見直しによる店舗FLコストの削減

**コロナ禍の今期においては、抜本的に仕組みや組織体制を見直し、
来期に向けて筋肉質な組織構築を図っていく**

セグメント		主な事業内容	会社名	主な店舗名
XEX グループ	国内	高級レストラン等の運営	株式会社ワイズテーブルコーポレーション	XEX The Kitchen Salvatore Cuomo 名古屋 The Kitchen Salvatore Cuomo 京都 毛利 Salvatore Cuomo atelier 森本 XEX
	国内	カジュアルレストラン等の運営	株式会社ワイズテーブルコーポレーション	PIZZA SALVATORE CUOMO SALVATORE CUOMO & BAR PIZZA SALVATORE CUOMO & GRILL PASTA & PIZZA Salvatore Cuomo PRESTO Salvatore Cuomo 伊太利亜市場BAR こけこっこ Soba & BAR An STEAK THE FIRST Salvatore Cuomo 市場 Paul Bassett The Kitchen Salvatore Cuomo 銀座
カジュアル レストラン グループ	海外	カジュアルレストラン等の運営	株式会社ワイズテーブルコーポレーション	SALVATORE CUOMO & BAR (Manila) The Kitchen Salvatore Cuomo Seoul The Kitchen Salvatore & BAR SALVATORE CUOMO
	国内	<ul style="list-style-type: none"> ・食料品等の卸売、小売事業及び不動産賃貸事業等 ・労働者派遣事業及び有料職業紹介事業 	株式会社ワイズテーブルコーポレーション 株式会社Y's properties 株式会社シェフズ・ファームズ 株式会社パートナーワイズ	
その他の 事業	国内			

本資料は情報提供を目的としており、株式購入や売却などを勧誘するものではありません。本資料には当社の出店計画や業績見通しなどが含まれております。

将来の計画・予測に関しましては、現時点で入手可能な情報もとに当社が合理的であると判断する一定の前提に基づき当社が作成したものでありますが、リスクや不確定要素を含んでおり、実際の業績等は様々な要因により大きく異なることがあります。

問い合わせ先：経営企画グループ
TEL：03-5412-0065